

金剛禪総本山少林寺 水海道道院 新春法会

二〇二六年 門信徒代表挨拶

新年明けましておめでとうございます。

僭越ではございますが、門信徒を代表してご挨拶を申し上げます。

二〇二五年は終日大阪万博に関するニュースが流れていたのは記憶に新しいのではないのでしょうか。百五十八の国が参加して、半年で約三千万人が来場し、経済効果は三兆円とも言われています。色々な意見があるとは思いますが、沢山の人の努力により、平和の象徴と言われる万博が成功に終わったことは良かったことだと思います。一方、世界ではウクライナ侵攻、ミャンマー内戦を始めとする紛争が後を絶ちません。万博と紛争、これらは相反することのように見えますが、これらはどちらも「人」が行っており、戦後八十年経って物が溢れ、技術が発達した現代でも、平和な世の中をつくるためには、開祖が言われたように「人づくり」以外にないのです。

そして今年最初の管長法話の見出しは「自分に負けない一年に」です。今年も人それぞれ違った環境や立場で色々な苦難や障害があるでしようが、「自分に負けない」ためには、よりどころとなる自分をつくれるかどうかです。その為に道院での日々の修練や各行事にできる限り参加して自分を変え、そして自分の周りにも良い影響を与えることを心がけて、水海道道院の仲間を増やせるよう、門下生一同努力してまいります。

最後になりますが、今年も皆様方のご多幸とご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

二〇二六年一月十一日 門信徒代表 水海道道院 正拳士 五段 松本 忠士